

事業概要

発達障がいを持つ若者が、思春期から大人へと成長する過程で感じてきたことを踏まえ、今、実感していることを語っていただく機会として開催。大人へのステップを踏む中で、若者が感じてきた、働くことや余暇のこと、暮らしていくこと…、そのストーリーの中で抱いた溢れんばかりの想い。でも大事なことは、今を生きること、今を感じる、今を知ること、そのために今を語る、そして明日への一歩を進めること。前半は発達障がいとは何かについてお話をいただき、後半は当事者の若者をお招きして、今の生活を語っていただきました。



参加者の声

- ・当事者のお話を聴くことができ、共感するところや新しく気づくことができたので、とてもためになりました。
- ・当事者の方からのお話は、発達障がいを理解するうえで参考になりました。自分のことを知る、自己肯定感を持つことの大切さはだれにでも通じることだと思いました。
- ・参加して良かったです。発達障がいの現状はまだまだ厳しいことがわかったから。
- ・岩井さんのお話わかりやすかったですし、当事者のお話とても参考になりました。

- ・当事者のお話は大変印象的だった。
- ・大学で小学校と特別支援学校の免許を目指していることもあり、発達障害をかかえる人々がどのような面で苦労しているのか、具体的な事柄をふまえたお話が聞けたので勉強になりました。
- ・発達障がいの状況について理解が深くなったと思います。ただ時間が短かったと思います。もう少し長く話を聴きたかったです。
- ・参加したきっかけに書いたことを、理解するための手掛かりがたくさんあり、参加してよかった。

レジュメ

- ・まわりの人の理解が大切
- ・特性から考える
- ・長所を生かす、苦手なところは工夫する
- ・発達障害の人たちが安心して、自信を持って、自分を肯定して生きていけるために支援する

成果

発達障がいとは何か？について学ぶ機会は増えてきました。その対応等についてのレクチャーを聞く機会も、アンテナさえしっかりと張っていれば増えています。それでも多くの角度からの視点を持っていた方が良いので、岩井さんにはその事を期待し、お願いをしました。期待通り、岩井さん独自の視点からのお話をいただき、また一つ（実は沢山の）なるほどをいただきました。「基本的な学識的内容を学ぶことができました。（わかりやすい講義でした）」とアンケートからも読み取ることができます。

今回、当事者の話を聞けたことが、今回のセミナーの大きな成果と考えています。もう一つのねらいとして掲げていた「当事者はどのような想いで発達障がいと向き合っているのか？」に対し、ある意味包み隠さず話していただけた。『支援の場の関わりや社会の中での関わりは、機会が増えてきたが、日常生活に即した、家の中での生活様式も含めて知る機会は少ない。』三箇さんは、そういった事も含めて話をしていただき、困っていることや楽しんでいることを交えて話をしてもらえたので講義というよりも友達と世間話をしているような感覚を覚えました。アンケートでは「三箇さんのお話とても面白く触発されるものがあった」とあるように、大変な状況やめんどくさい事もあって、これが私の生きざまなんです。と一つの人間ドラマを聞いているような想いを抱きました。

成果としてあらためて確認するなら、家の中を含めた日常生活に即した、発達障がいを持つ若者の工夫や課題や楽しみを知ることが出来た、ということになります。

担当者コメント

中京青少年活動センター
村井 繁光

発達障がいを持つ若者は、他者との関わりの中で、自分自身や他者への違和感を持ち、さらに困難性を感じながら生きています。理解しあうことで、この困難性を少なくしていけると信じ、経験を共有することで、分かり合える関係性になる事を目指し、このセミナーを企画しました。自分の事を語ってもいいという若者に出会えたことを本当にありがとうございました。また、京都市発達障害者支援センター「かがやき」の岩井さんには、セミナーのコーディネイト兼講師を含め、多大なご協力をいただき、この場を創ってもらえた事を、本当に感謝しています。参加していただいたみなさんと発達障がいを持つ方も、共に幸せだと感じながら生きていける社会を創っていけたらと思っています。本当にありがとうございました。



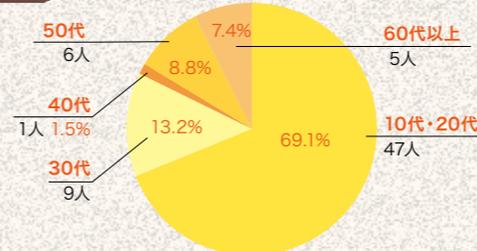
来場者アンケートの結果報告

(回収枚数 68枚 / 参加者 209名)

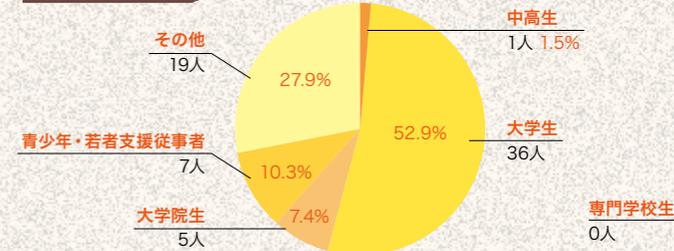


参加者属性

参加者の年代

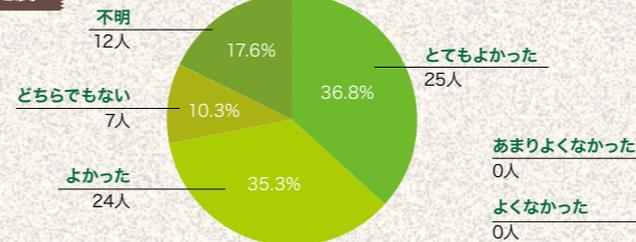


参加者の所属



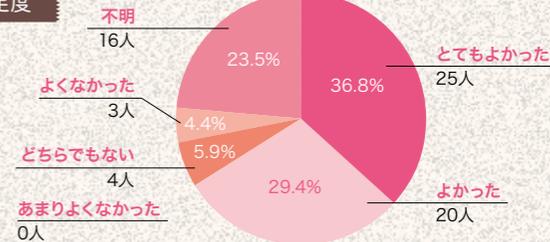
第1部

満足度



第2部

満足度



満足度の理由と感想 (抜粋)

- ・コーディネーター・パネラーの人選が良かった。特にコーディネーターのまとめが良かったと思います。
- ・自分は地域にリーダー会を立ち上げ、子どもの成長と言うものに地域と一緒に活動しています。さまざまな角度からいろいろな活動の紹介をうけて、視野を広げることができたから。
- ・変人は変える人がとてもよかったので。
- ・いろいろとためになる話を聴けて、前向きな気持ち、挑戦につなげる意思を強く持てた感じでした。
- ・それぞれの生き方へ挑戦し、流されつまずきリアルなお話が良かった。これからそんなに甘くはないと思うが5年後が楽しい(そんな報告会があればうれしい)。
- ・子どもの年齢の若者たちが頑張っていること、若者のことが理解でき、気づきがあった。
- ・黄昏年齢で体調も少し悪いですが、私なりに社会の役に立ちたいと再認識した。
- ・普段若者の考えていることを知る機会がない私にとって、とても新鮮でした。元気をもらいました。
- ・パネラーの人たちの飾らない正直な気持ちがとても心地よかった。
- ・当初は今の自分たちの活動に対して「やりがい」「夢」を持ったキラキラした方たちが話をする内容だと思っていたが、コトバのはしほしに活動に対する不安、様々な葛藤を抱えながらも自分たちがやりたいことやもう少し社会が生きやすい社会へという考えや目標を持って活動されていることがわかり、今の自分と重なったり、共感するところがあったから。
- ・自分と考え方が全く違うお話を聴くのはとても刺激になった。
- ・若者が活き活きしていた。若者の若者による若者のためのシンポジウムと感じた。

満足度の理由と感想 (抜粋)

- 《トークフリマ・ブースコーナー》
- ・対面形式かつ最初にトークメニューが提示されているため、話をしやすい工夫、特に学生さんたちの熱意がダイレクトにつたわる点が非常に良かったです。
- ・いろんな活動をしている人がたくさんいるんだなぁと思いました。
- ・自らの活動する理由を再認識できた。
- ・全体的にワイワイした雰囲気でも自由に柔軟にブースをまわることができ参加しやすかった。
- ・まとまりが薄かった。
- ・個人単位での話が展開されたので、用意されたメニューをもとにさらに深く話をする事ができた。
- ・たてまえの話が主で深いところまで話せる機会が少なかった。
- ・みなさんが今もっている希望、夢、新たな野望をたくさん聞くことができたから。
- ・若者がそれぞれのブース?でいきいきとしている様子を観ることができ、トークセッションで夢をもって活動している話を聴くことができ、元気をもらったから。
- 《セミナー》
- ・当事者のお話を聴くことができ、共感するところや新しく気づくことができたところがあり、とてもためになりました。
- ・発達障がいの現状はまだまだ厳しいことがわかったから。
- ・発達障害をかかえる人々がどのような面で苦労しているのか、具体的な事柄をふまえたお話が聞けたので勉強になりました。
- ・発達障がいの状況について理解が深くなったと思います。ただ時間が短かったと思います。もう少し長く話を聴きたかったです。話を聴けてよかったです。